

まきびと カルデアの牧人 ～校長だより～ No.24

啐啄同時 ～ 1 学期始業式 ～

高校生活の大きな節目である春休みが終わり、それぞれの新年度、新学年がスタートしました。お互いに気持ちを新たに、元気よく令和6年度をスタートしたいものです。

年度の初めにあって、本年度の学校運営の目標について、少しだけ説明をしておきたいと思います。本校のグランドデザインにも示していますが、大東高校では、生徒の皆さんに卒業までに3つの大きな力を身につけてもらうことを掲げています。

まず一つ目は「人とつながることができる、人間力」です。皆が多様性を認め、自他ともに尊重することができる、心豊かな人物になってほしいと思っています。今年は「何事にも安心して挑戦できる生徒集団をつくること」を目標にして教育活動をしていきます。二つ目は、「学んだことを、つなげることができる、学力」です。皆さんには、主体的に学び、何事でも積極的にチャレンジしてほしいと思っています。先生方には今年もさらに授業を工夫していただきますが、皆さんも自ら学ぶという姿勢をしっかりと、学校だけでなく家庭での学習にも時間をつくってしっかりと取り組んでいただくようにします。三つ目は、「自分と地域の未来を、つむぐことができる、社会力」です。皆さんには、自分の未来を切り拓いていこうとする気概を持ってほしいと思っています。今年はこれまで以上に大学との連携や地域との協働を進めながら、将来のことをしっかり考えて希望を持って進めるように支援していきます。そして、今年も「Well-Being ～ 生徒・教職員が希望を持って集う学校へ」を学校運営のスローガンとして掲げます。安心して希望を持って学べる学校、活動できる学校、そして目標が実現できる学校を目指して教育活動をやっていきます。

私たち教員は、いつも「良い授業がしたい」と思っています。大東高校の先生方もそれぞれが考える「良い授業」を目指して頑張っていますが、「良い授業」は先生だけの力ではできません。皆さん生徒の力が必要です。たとえば、気持ちの良い挨拶を交わしたり、教室がきれいできちんと整理されていること、授業の準備ができていてスムーズに始めることができたり、一生懸命に先生の話聞いてくれる、予習や必要な課題をきちんとやってくる、そして、質問をしてくれる、そんなことで先生方のやる気は一段と増して、良い授業が実現しやすくなります。

仏教の言葉で「啐啄同時（そったく どうじ）」という言葉があります。「啐（そつ）」は雛がふ化するときに、殻の中からピヨピヨと鳴いて殻をコツコツと叩く音、「啄（たく）」はそれに応じて親鳥が外から殻



を突くことを言います。そのタイミングが合ったとき雛は無事に生まれてきます。これをもとに、学ぶ者と教える者の息が合い、学問が成就する理想的な教育の機会を「啐啄同時（そったく どうじ）」と言います。使い古された言葉ですが、教育の真理を表現している言葉だと思います。大東高校もそんな授業が行われる学校であってほしいと思います。今年度も良い授業、そして良い学びの場が作られるように願っています。